

私たち Piece of Syriaは、シリアの子ども達がつくる未来の平和を応援しています。

世界で最も多くの難民が生まれたシリアは、2010年に戦争が始まるまで、**日本以上に平和で豊かな国だった**とご存知でしたか？

就学率 99.6%、大学も医療も無料で、昼の2時まで働けば家族10人が養える、治安も日本以上に良く、家族との時間を愛する国でした。

しかし、10年以上続く戦争で、国民の半分以上が難民・国内避難民となり友達と遊ぶこと、家族でご飯を食べる、という当たり前が「ぜいたく品」に。

私たちは、シリアの子ども達が、シリアを復興させ、平和な未来を作るために、支援が届きにくい地域で、幼稚園・小学校・補習校を運営しています。



私たちの活動と、ご寄付の活用例



心のケア

毎月 **1,000円** のご支援で

戦争・地震によって、心にトラウマを抱えてしまったシリアの子ども3人へ、専門家による心のケアのためのアクティビティが実施できます。治安の悪化で子ども達だけで遊ぶことができない地域では「友達と遊ぶことが楽しい」ということさえ大きな成果になります。



教育支援

毎月 **3,000円** のご支援で

戦争により、3人に1人が教育を受けることができていません。ご寄付によって、避難生活で収入が安定していない家庭を対象に授業料だけでなく筆記用具・バッグ・教科書や通園バスを提供し、**無料で教育を受けることができる**ようになります。



教育の質

毎月 **10,000円** のご支援で

政府や国連などから支援が届きにくい地域では先生達が無給になることも。安定的に給与を届けることで、先生が家族を守りながら教師を続けられるため「今日の家族の食事」ではなく「どうやってより良い授業をするか」に集中し、教育の質を向上できます。

ご支援者様からの声

私達は微力であるが、無力ではないという信念に共感



海外の市場のお蔭で暮らさせていただいており、何かできることはないかと思っていました。日本だけが幸せということは、もう不可能です。全てが繋がっています。私の会社も小さな町工場ですが、社員と共にシリアやトルコのことを身近に考え、世界との繋がりを持つ努力をしています。多くの日本の方が世界との繋がりを持ち、助け合いの気持ちを共有できることを願っています。

DOKURO JAPAN代表取締役 高橋 祐子さん

国際協力のイメージが変わっていく予感がします



教育支援をすることでシリアの未来を支えるという活動内容もさることながら「シリアが好きだから、そのいいところを伝えたい」という言葉が支援の決め手になりました。「好きだから」「楽しいから」というPiece of Syriaのアプローチが多くの仲間を集め、真剣ながらも明るく楽しそうに活動する姿を見て、「国際協力」のイメージが大きく変わっていく予感がしています。

会社員 福西 浩樹さん

私たちの活動に参加する方法

寄付で応援



SNSで応援



代表の半生が掲載された本

フォローお待ちします！

<メディア掲載>



- ・ニュースウィーク日本版「世界が尊敬する日本人100」選出 (2023年)
- ・「好きな場所ではたらく」(2023年、岩崎書店)
- ・テレビ朝日【グッド！モーニング】「内戦下のシリアで…幼稚園運営の日本人「教育の場を」きっかけは「1人の少女の夢」」(2023年)
- ・朝日新聞「内戦後のシリアで200人の幼稚園を運営するNPO代表」

その他、NHK、読売新聞、ビッグイシュー、共同通信、関西テレビ、テレビ大阪、信濃毎日新聞、奈良新聞など多数。



特定非営利活動法人
Piece of Syria (ピースオブシリア)

<http://piece-of-syria.org>
contact@piece-of-syria.org

ピースオブシリア